

# 高梁国際ホテルの 今後を考える

## 経営計画書を作成中

令和4年1月21日に議会全員協議会が開催され、2月11日に満了する市と(株)高梁国際ホテルの契約期間が20年という長期の建物等賃貸借契約を半年間程度延長することが報告されました。

平成16年10月の合併以前のこともあり、高梁国際ホテルが市の財産であることをご存じでない



方もおられるかと思われます。土地、建物等施設は市の普通財産であり、現経営陣に建物等賃貸借契約で貸付し、経営が行われていきます。したがって仮に、施設の大規模な修繕が必要とされる場合は、市の負担で行われます。

非常に厳しいものがあります。そこで、契約の更新に当たり、市から同ホテルに対して、生産性の向上、地域貢献、収益性の向上などの基本戦略、また、外部人材の登用による経営改革、関係団体との協議連携の部分について十分



## 高梁国際ホテルの経緯

昭和	60年	高梁駅周辺開発懇談会を設置
平成	7年 2月	(株)輝ノ家が進出の意向表明
	7年 5月	(株)高梁国際ホテル設立 (株)輝ノ家が母体)
	8年 7月	土地使用賃貸借契約締結
	8年 8月	高梁国際ホテル建築着工
	9年 8月	高梁国際ホテル開業
	12年	返済能力低下による経営危機
	13年12月	市が建物を買取る
	14年 2月	経営者を交代し再建へ 新経営者と建物賃貸借契約締結
	19年 2月	土地使用賃貸借契約期間満了、 建物賃貸借契約を建物等賃貸借契約に改める
令和	4年 1月	議会全員協議会で半年間の契約延長を報告 現在に至る

## 討 論

議案53件のうち、令和4年度一般会計予算に反対し、他の議案には賛成する。予算には引き上げされた各種利用料や会場使用料が含まれ、地域局の土・日の日直制度が廃止されるなど市民サービスの低下がうかがわれる。あわせて吉備国際大学や市立図書館の指定管理委託料が優先的に予算組され、(株)吉備ケーブルテレビや(一社)高梁市観光協会など、一部の企業、団体への事業委託が散見される。市が進める「指定管理者制度」は監視体制の弱体化や情報公開が欠落し、また働く者を低賃金に追い込み、地域経済を低迷させるなど問題がある。消防署の移転や落合幼稚園の閉園など、市民や地域、利用者や議会にも相談や報告がないままに決定される事案が見受けられ反対するものである。

### 反対討論

令和4年度一般会計予算に反対

石部 誠 議員

### 賛成討論

全ての議案に賛成

金尾恭士 議員

全ての議案に賛成の立場から討論する。約253億円の一般会計予算は、市民の生活や生業に役立てられることを要望する。30年災害の復旧復興工事は着実に進められているが、市民の防災意識の向上を一層高めていくことが必要。「防災マップ啓発事業」は市民に分かりやすく伝えてもらいたい。公立病院の経営強化については改善の指針が策定され、川上医療センター・ひだまり苑において、引き続き旭川荘の医療介護が受けられることに安心している。新型コロナが収束し、備中松山城や日本遺産吹屋が賑わいを見せ、交流人口が増え、移住定住に繋がることが願う。有漢義務教育学校の今後や、幼稚園・こども園の再編については広く保護者や地域の声を聞き、より良い方向を目指して欲しい。

## 3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

議案番号	件 名	金尾	平松	新倉	伊藤	森	森上	石井	石田	石部	三村	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	大月
議案第40号	令和4年度高梁市一般会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

## 議員研修を開催しました 機能する一般質問とは

高梁市議会議員研修会を1月25日に開催しました。今回は議場を会場として、「質問力で高める議員力・議会力」と題して、法政大学の土山希美枝教授によるオンライン形式での講演を拝聴しました。

一般質問は議員にとって自分の活動と知見を集約し、わがまちの争点を提起し監査・提案できる機会です。機能する一般質問とは、論点の整理・情報収集・聞いただし方を考え、その質問が、わがまちの状況を反映し「まちをよくする」に繋がっていくことが大切であるとの教えがありました。



皆様の支持する議員の一般質問は、議案や政策を、また数字を確認するだけでなく、ありませんか？ 議会放送などでチェックしてはいかがですか。